



津波がくるぞー！

10月5日、大津波警報が発令されたとの想定のもと、初めての全町一斉避難訓練が行われました。

第3回定例会のあらまし	2
町政を問う！4人の議員が一般質問 ..	4
委員会活動	9
議会のうごき	10



平成28年

第3回

定例会

平成28年第3回定例会は、9月9日から16日までの8日間の会期で開かれました。

【9月9日】

木幡町長から行政報告が行われ、その後、補正予算などの審議を行いました。

平成27年度決算は、議長及び議選監査委員を除く8名の委員で構成する決算審査特別委員会へ付託しました。

【9月14日】

一般質問に4人の議員が登壇し、町政に対しての所信を質しました。

【9月16日】

追加議案の審議、決算認定の採決を行い、その後、意見書案1件などを可決しました。

慎重に審議した結果、本定例会に提案された議案すべてを原案のとおり可決し、閉会しました。

補正予算

○平成28年度一般会計補正予算（第6号、第7号）

○平成28年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

○平成28年度介護保険特別会計補正予算（第1号）

○平成28年度公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

○平成28年度水道事業会計補正予算（第1号）

その他

○専決処分の承認

（平成28年度一般会計補正予算第5号）

○平成28年度に公表する健全化判断比率及び資金不足比率の報告

所管事務調査

（委員会が受け持っている調査内容）

第4回定例会（12月）までの各常任委員会、議会運営委員会の所管事務等調査事項は次のとおりです。

《総務常任委員会》

- ・国民健康保険事業の運営
- ・奨学金制度
- ・文化財事業
- ・環境衛生事業
- ・病院事業

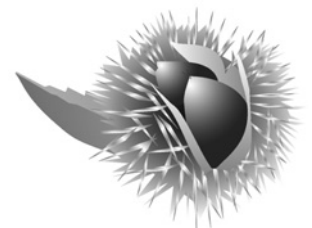
《産業建設常任委員会》

- ・土木事業
- ・林業振興
- ・農業振興
- ・水産振興

《議会運営委員会》

- ・議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項

○放棄した債権の報告
○議会委員会条例の一部を改正する条例
○議員の派遣承認
○所管事務調査及び閉会中の継続調査
※詳しい議案の内容は、10月号町広報に掲載されております。



平成27年度各会計決算を認定

9月9日開会の第3回定例会において、平成27年度一般会計及び特別会計並びに各企業会計の決算を審査するため、議長と議会選出の監査委員を除く8名で構成する決算審査特別委員会を設置しました。

休会中に審査した結果を9月16日の最終日に報告し、認定しました。

◎決算審査特別委員会 委員長 高森 功治 副委員長 辻 紀樹

◆ 平成27年度一般・特別・企業会計決算状況 ◆

会 計 名		歳 入	歳 出	差 引 額
一 般 会 計		50億5,075万6千円	48億9,016万9千円	1億6,058万6千円
特 別 会 計	後期高齢者医療	1億123万7千円	1億16万7千円	107万円
	国民健康保険	9億1,680万1千円	10億3,323万4千円	△ 1億1,643万2千円
	介護保険	7億3,094万9千円	7億684万4千円	2,410万4千円
	公共下水道事業	3億3,185万4千円	3億2,640万5千円	544万9千円
企 業 会 計	ガ ス 事 業	収益的收入総額 9,847万6千円	収益的支出総額 1億6,059万6千円	
		資本的收入総額 3,580万円	資本的支出総額 4,242万7千円	
	水 道 事 業	収益的收入総額 1億6,670万円	収益的支出総額 1億6,041万7千円	
		資本的收入総額 365万6千円	資本的支出総額 4,924万4千円	
	病 院 事 業	収益的收入総額 5億5,234万4千円	収益的支出総額 5億7,696万3千円	
		資本的收入総額 660万円	資本的支出総額 1,675万5千円	

歳入、歳出差引額の不符合は、端数処理により生じたものである。

● 議員の出席簿 ●

平成28年 7月～平成28年 9月

会 議 名	開催日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		北川	長崎	辻(紀)	高森	橋本	大谷	村川	角	柏倉	辻(義)
第 3 回 臨 時 会	8月2日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月9日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 3 回 定 例 会	9月14日	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	9月16日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7月27日	—	○	○	○	○	○	—	○	○	○
議 会 運 営 委 員 会	9月6日	—	○	○	○	○	○	—	○	○	○
	9月9日	—	○	○	○	○	○	—	○	○	○
	9月14日	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	7月27日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全 員 協 議 会	9月1日	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	9月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月9日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月14日	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	9月16日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7月25日	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○
総 務 常 任 委 員 会	9月6日	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○
	9月14日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月6日	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○
産 業 建 設 常 任 委 員 会	9月14日	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	9月9日	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
決 算 審 査 特 別 委 員 会	9月15日	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月14日	—	—	○	○	—	—	○	×	—	—
議会広報編集特別委員会	9月1日	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議会改革等に関する調査特別委員会	7月25日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月1日	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

○ (出席) × (欠席) — (出席対象外)

町政を問う

一般質問とは

議員が町政全般にわたり、執行機関（町長・教育長など）に疑問点をただし、所信の表明を求めることです。



大谷敏弥 議員

高齢者の孤立をなくすには 5



辻 紀樹 議員

台風時の避難所を福祉センターに 6



柏倉恵里子 議員

先進的アグリビジネスの将来展望は 7



長崎 厚 議員

入札価格の事前公表と最低制限価格制度の現状は ... 8

定例会2日目、4人の議員より一般質問が行われました。
その内容を要約してお知らせします。

※全文は町ホームページからご覧になれます。

[町ホームページトップ](#) → [町議会](#) → [会議録](#)

— 大谷敏弥 議員 —

高齢者の孤立をなくすには

(町長) 支え合うまちづくりを進める

大谷 地域家族の時代で、少子高齢化を踏まえ、これからは家族に代わる新たな人間関係に繋がりがなくと多くの人が孤立した暮らしになる。

同じ地域に住んでいる人たちが家族同様に支え合うことの大切さ、居場所づくり、役割づくりも理念の柱だ。孤立の解消を目指すには。町長の所信を伺う。

町長 少子高齢化が進むなか、1人暮らしや認知症、高齢者が増加傾向にある。

住民参加による地域づくりを通じ、地域住民の社会的孤立を防ぎ、可能な限り住み慣れた地域で

暮らし続けられるような仕組みづくりが大切だ。

現在、平成29年度までを計画期間とした長万部町高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画を策定し、共に支え合い長寿で豊かなまちづくりを基本理念とし、各種福祉、介護事業を進めている。

主な施策では、健康教育や介護予防事業、老人クラブ育成、介護保険サービスの充実、給食サービスのはじめとする自立生活支援の充実に努めている。また各町内会では、地域敬老会や高齢者を対象とした食事会、レクリエーションも行われている。

今後も、高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画に基づき、生きがいと健康づくりや安心して暮らせる環境づくり、多様な暮らしを支え合うまちづくりを進め、高齢者が孤立しない地域づくりを進めていく。

大谷 色々な施策を策定しているが、やはり地域のことは地域が、町内会のことは町内会が良く知っている。これからは超高齢化の時代になり、孤立を解消する居場所づくり、町内会や老人会の活動が大きなウエイトを占める。声かけ運動、各地域で活動している地域づくりの人材の交流を

図り、人と人とのつながりを強めていく必要があると感じているが、いかがか。

町長 各町内会で敬老会を開催しているが、参加者が少なく、色々苦^く心^{しん}惨^{さん}憐^{れん}をしながら、声かけ運動、参加の促しをやっている。

声かけ運動は大切であると思うっており、新聞やダイレクトメールが郵便受けに溜まっているような状況の際は通報していただくよう、各メーカーや企業、団体と連携をし、孤立のない閉じこもりのない社会づくりを進めていきたい。

大谷 住民から選んだ地域の調整役が、地域のアンテナとなり孤立世帯の把握に努め、必要な支援に繋げていく。課題をかかえる世帯がどこなのか情報収集し、

介護相談に応じ、行政機関に導いていくというのはどうか。

町長 民生委員も各地域におり、それぞれネットワークを持ちながら地域の状況を把握し、担当課に連絡を入れ、十分対応していると思うている。より一層のネットワークを通じて広げていければと思うので、今後、それらを含め検討したい。



デイサービスセンターを利用する方々

— 辻 紀樹 議員 —

台風時の避難所を福祉センターに

(町長) 避難訓練を踏まえて検証する

辻 渡島半島の南端をかすめる形で通過した台風10号に伴う暴風のため、倒木や屋根・外壁の剥離^{はくり}など多数の被害が発生し、現在もその修復作業が行われている。

台風接近に伴い、町では早い時点で「避難準備情報」を出すとともに4ヶ所の避難所を開設。避難された方は高齢者が多く、住み慣れた自宅とは違う環境から戸惑う方や、体調面を気にかけている様子も見受けられた。

今後、台風や爆弾低気圧が発生した時は、コンビニエンスストアが近くにあり、自動販売機が設置されている福祉センターとし、保健師の配置、ダンボールベッドを用意するなど、より安心できる環境が必要と考えるが、町長の所見を伺う。

町長 天候の状況や、夜間などの時間帯によっては避難所への移動に危



福祉センター

険を伴うことも予想されることから、まずは最寄りの施設へ避難し、その上で長期化が見込まれるなどの時は、高齢者の継続的な健康管理も必要となることから、保健師等を配置した避難所への集約など、出来る限り安心して避難の出来る環境整備に努める。

辻 避難された方は災害弱者と言われる方が多いと思う。これから冬になり、長い停電で暖房もとれない状態も考えられる。それを踏まえると、やはり1ヶ所程度にまとめた方がいいと思うが。

町長 これだけの広い海岸線を1ヶ所に避難させるのは無理なので、一度、近くの避難所に入り、長期化する場合には施設の整ったところに集合させるというのは、その後の話だと思ってるので、1ヶ所に集めるということは今のところ考えていない。

辻 避難所を1ヶ所にするのも分散するのも、良い面・悪い面あると思う。今後、色々なことを試し進めるといったことか。

町長 やらないというのは考えていない。これから検証し、やっていかなければいけない。10月5日に全町一斉の避難訓練を計画している。台風10号の事例も踏まえ、防災に対する力と、災害に遭わないということを

認識してもらいたいと思っている。これからもっと詰めて安全対策に努めていきたい。

意見書を提出しました



意見書1件を原案どおり可決し、関係機関へ送付しました。

◇林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

― 柏倉恵里子 議員 ―

先進的アグリビジネスの将来展望は

(町長) 平成31年度を目標に

企業等に引き継いでいく

柏倉 今年の長万部
フォーラムで、長万部創
生事業の進捗状況が発表
されたので、次の点につ
いて伺う。

現在、試験的にレタス
栽培が行われているが、

本格的に栽培されるとな
ると、1日2000株の
出荷が見込まれると聞い
たが受入先は。

町長 出荷先はまだ決
まっていない。現在は、
東京理科大学の学生食堂

試験栽培中のレタス

1ヶ所と、同大同
窓会運営のレスト
ランで提供してい
る。今年度中は、
植物工場が安定稼
働するための条件
を確認しつつ、東
京理科大学の全
キャンパスの食堂
に出荷することを
検討している。
植物工場は、黒
字化が見込まれる

再生可能エネルギー事業
を先に確立させ、安定的
に収入収益が見込まれる
体制を構築した後に生産
を拡大しなければ、事業
が成り立たない。自立経
営が見込まれる平成31年
度を目標に、本格的な量
産を目指している。

銀座の長万部酒場など
をはじめ、各種レストラ
ンやスーパーマーケット
などへの販路を開拓し、
1日2000株以上の出
荷を目指していきたい。

柏倉 今年度中に事業
法人設立の予定だが、ど
のような手順で行うのか。

町長 再生可能エネル
ギーの確立を最初に目指

することから、ヒートポン
プなどのハード施設整備
に要する費用について、
理科大学ベンチャーキャ
ピタルファンド(※1)か
ら事業会社に出資するプ
ランの検討が進んでいる。
本事業計画の最終年度
である平成31年度以降、

事業が軌道にのる段階で、
長万部町の発展及び町の
雇用増に貢献するという
前提を満たす企業又は経
営者に引き継いでいく計
画だ。

柏倉 担当課は、まち
づくり新幹線課だが、こ
の事業の専任担当者を置
くなど体制を強化しては。

町長 本事業は、町直
営事業や委託事業ではな
く、あくまでも東京理科
大学の収益事業会社であ
る東京理科大学インベス
トメント・マネジメント
社が代表企業を努める事
業コンソーシアム(※2)
が内閣府から町経由で補
助金を受け、主体的に実

施している事業である。

町としては、事業が円
滑に進められるよう全面
的に協力する体制をとっ
ているが、事業実施計画
の範囲内の施策に関して
は、事業コンソーシアム
が主体的に進めていくも
のと認識している。

よって本事業の専任担
当者を置くことは考えて
いないが、将来の自立経
営開始に向けての販売戦
略などについては、その
ノウハウをもつ地域おこ
し協力隊の協力を得なが
ら、本事業全体へ全面的
にサポートしていきたい
と考えている。

(※1) 投資に対して高い収益
を期待し、積極的な投
資を行う投資会社
(※2) 共同事業体

―長崎 厚 議員―

入札価格の事前公表と 最低制限価格制度(※1)の現状は

(町長) 時期を見極め検討したい

長崎 予定価格は、契約金額を決定し適正な契約を行うための基準となるものだが、以前、当町でも導入されていた「予定価格の事前公表」は、入札・契約手続きの透明性、採算が見込めない入札、さらに契約担当者が予定価格を漏えいして利益を誘導する危険性を払拭したなどが高く評価され、近隣町村でも採用されている。

ぐため導入されている。当町の「予定価格の事前公表」と「最低制限価格制度」の現状を伺う。

町長 予定価格の事前公表は、価格の漏洩を防ぐメリットがある一方、当該近傍価格への入札が誘導され、適切な積算を行わずに受注する事態が生じるなど、建設業者の真の技術力、経営力による競争を損ねる弊害もあり、また、総務省自治行政局及び国土交通省土地建設産業局長からの通知もあり、平成26年4月1日から試行的に行っていた予定価格の事前公表を取りやめ、事後公表とし

たところである。

また、最低制限価格の設定については、ダンピング(※2)による弊害を防止する役割はあるものの、契約内容に適合した履行が十分に期待できる業者を選定し、入札に参加させているにも関わらず、発注者の裁量による最低制限価格を設定し、これを下回る価格で入札した業者を排除することは、競争契約における競争の利益を阻害し、制限価格を事前に知ろうとする不正の可能性もあり、現在、最低制限価格は設定していないが、今後の入札結果等を注視しながら、必要に応じ制度の導入について検討を進めたい。

長崎 国からの通知により、当町は事前公表を取りやめたとの事だが、八雲町、森町は現在も行っている。この通知の効力は、

総務課長 国からの通知は、地域の実情に応じ採用するというのであるが、全国的には事後公表の流れになってきている。

長崎 最低制限価格の設定をする場合、予定価格が事前公表されなければ、最低価格の積算は難しいと思う。八雲町は低入札価格調査制度(※3)、森町は最低制限価格制度。この2種類がある。

答弁の中で、最低制限価格は設定していないが、今後の入札結果等を注視し、必要に応じ制度の導入の検討を進めるとあるが、予定価格の事前公表



入札受付

についても合わせて検討してはどうか。

町長 来年2月、新たに入札する業者の指名願いの申し込みがあり、時期を見極め、その制度についても検討したい。

(※1) あらかじめ設定された「最低制限価格」を下回る入札があった場合、その入札者を失格とする制度

(※2) 不当廉売

(※3) あらかじめ設定された「調査基準価格」を下回る入札があった場合、その入札価格で適正な履行が可能であるか否かについて調査した上で落札者を決定する制度



委員会活動



議会改革等に関する調査特別委員会

7月25日

- ①議会改革等に関する調査
これからの検討事項について協議

9月1日

- ①議会改革等に関する調査
意見交換会について協議

まちづくり・新幹線調査特別委員会

9月1日

- ①まちづくり・新幹線等に関する調査
まちづくり推進会議、北陸新幹線糸魚川駅・駅周辺等視察研修報告、地方版総合戦略の評価について審査

議会運営委員会

7月27日

- ①第3回臨時会の運営について協議

9月6日

- ①第3回定例会の会期及び日程、提出される議案などの取り扱いについて協議

9月9日

- ①第3回定例会の運営について協議

9月14日

- ①第3回定例会の運営について協議
- ②第4回定例会までの所管事務調査を協議

議会広報編集特別委員会

9月14日

- ①議会だより第189号の編集について協議

10月13日

- ①議会だより第189号を編集

総務常任委員会

7月25日

- ①衛生処理対策
浄化槽汚泥等処理状況、MICS事業（污水处理施設共同整備事業）について調査
- ②病院事業
病院事業について調査（現地調査）



9月6日

- ①町税収納対策
収納実績、滞納処分執行状況、渡島・檜山地方税滞納整理機構運営状況について調査
- ②公共下水道事業
MICS事業（污水处理施設共同整備事業）について調査

9月14日

- ①所管事務調査
第4回定例会までの所管事務調査を協議

産業建設常任委員会

9月6日

- ①商工観光振興
観光客入込数の状況、合宿誘致事業について調査
- ②水産振興
水産廃棄物リサイクル施設の運営状況について調査

9月14日

- ①所管事務調査
第4回定例会までの所管事務調査を協議

議会のうごき

7月

- 2日 毛がにまつりセレモニー 議長
- 3日 渡島地方消防総合訓練大会 (知内町) 議長
- 5日 北海道町村議会議員会主催議員研修会 (札幌市) 全議員
- 6日 長万部町議会議員研修会 (苫小牧市) 全議員
- 20日 北海道高速自動車国道事故等対策訓練 (森町) 議長
- 22日 札幌長万部会 (札幌市) 各議員
- 26日 J R北海道への要望活動 (函館市) 議長

- 27日 東京理科大学長万部フォーラム・長万部キャンパス30年記念懇親会 各議員
- 30日 渡島桧山町議会議長連絡協議会 (八雲町) 議長

9月

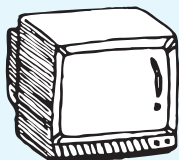
- 9日 第3回定例会 全議員
- 12日 インターファーム長万部知来農場新築工事起工式 副議長
- 14日 第3回定例会 全議員
- 16日 第3回定例会 全議員
- 26日 福島県下郷町議会視察来町 議長、副議長
- 29日 台風10号被害に係る知事への要請活動 (札幌市) 議長

8月

- 2日 第3回臨時会 全議員
- 3～4日 渡島総合開発期成会東京要望 (東京都) 議長
- 20日 4町議会議員交流大会 (八雲町) 各議員

議場のテレビ放映

役場1階ロビーで定例会、臨時会の模様を放映しています。



議会を傍聴してみませんか

次の定例会は12月です



この広報紙は再生紙を使っています。

お願い

議長宛ての案内などの文書は、議会議務局へ送付ください。

委員会も署名するだけで傍聴することができます



リオオリンピック、高校野球の道内勢の決勝進出、

長万部中学女子卓球部の全国大会出場と明るい話題で盛り上がった今年の夏でしたが、一方で8月末の台風10号の暴風による甚大な被害は、改めて自然の猛威を感じました。台風のみならず、黒松内低地断層帯に位置する町として、大地震に対する備えや防災意識は常に持っていないければなりません。この度、町として初めて津波災害に対する全町一斉の避難訓練がありました。地区ごとに、まずは最寄りの避難場所をしっかりと確認し、今回の訓練の反省点を洗い出して、今後の防災計画・訓練に生かしてほしいものです。

議会広報編集特別委員会

委員長 高森 功治

副委員長 辻 紀樹

委員 村川 健